

事業番号 6
千葉県 県土整備
公共事業評価審議会
令和4年度 第3回

事業再評価

都市公園事業

千葉県立長生の森公園

令和5年1月27日

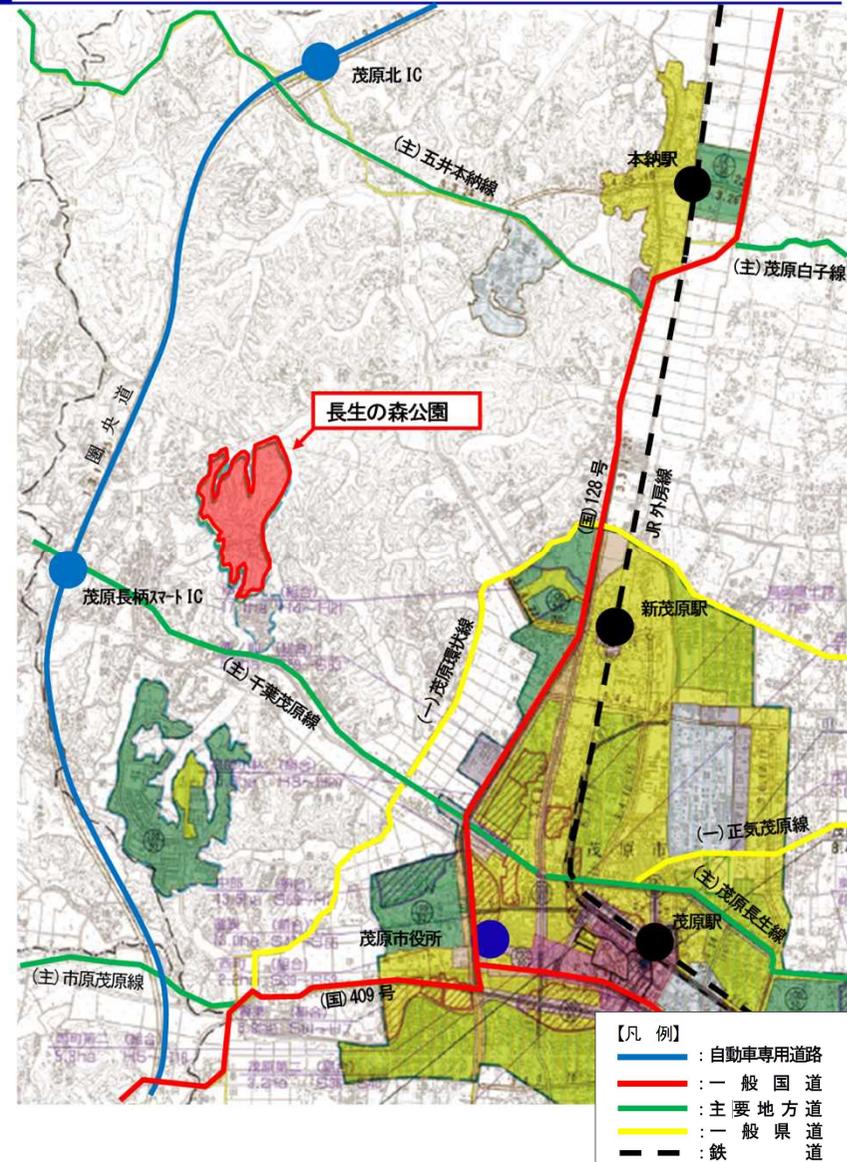
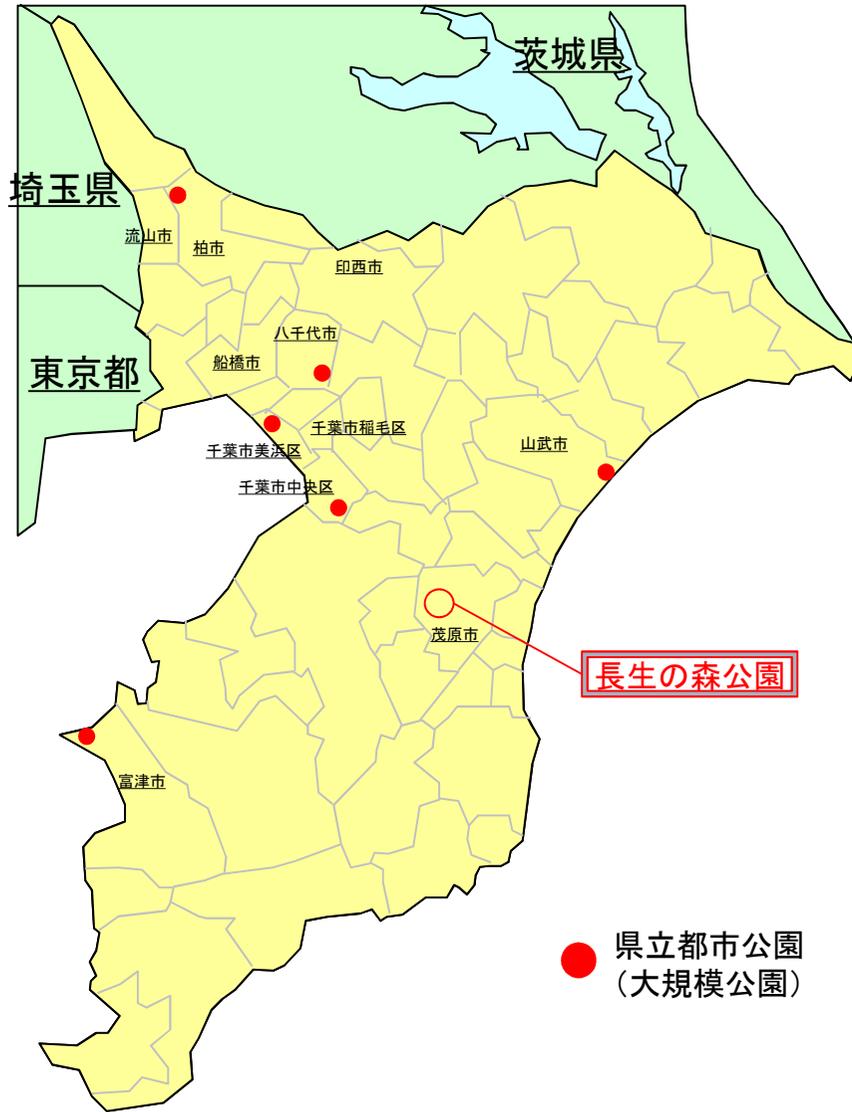
千葉県 県土整備部 都市整備局 公園緑地課

目次

1. 事業の概要
2. 事業の進捗
3. 事業計画の見直し
4. 社会経済情勢
5. 事業投資効果
6. 対応方針(案)

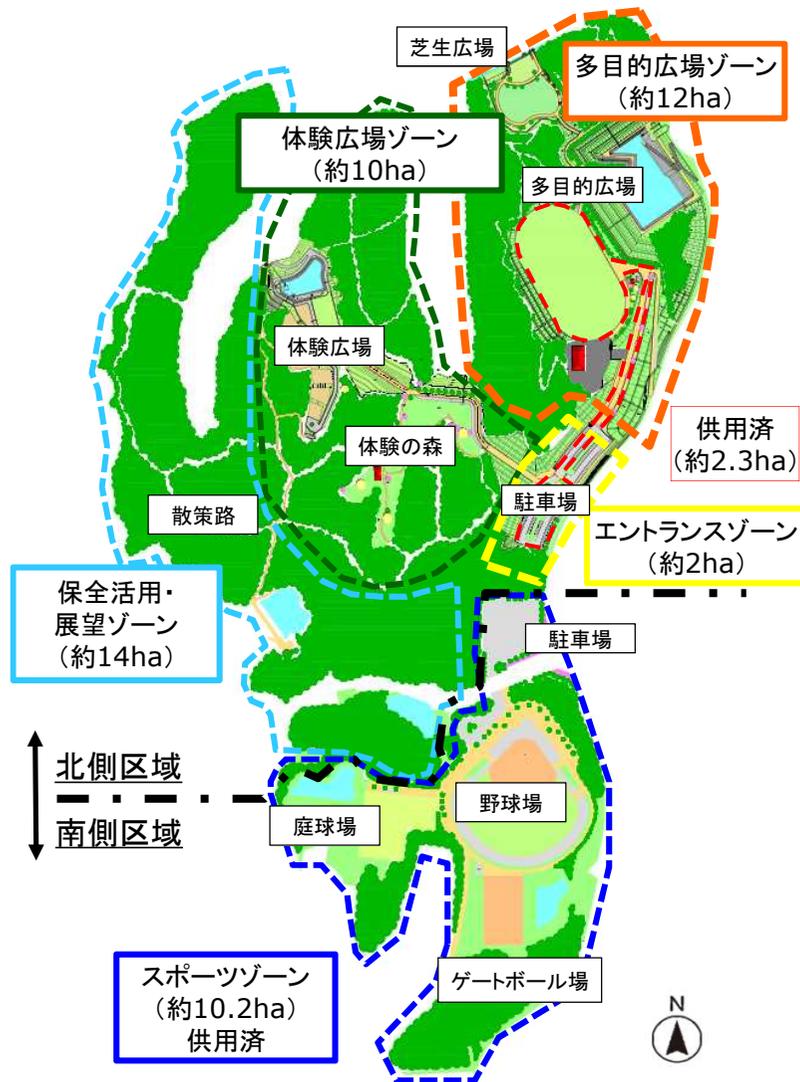
1. 事業の概要

(1) 長生の森公園の位置



1. 事業の概要

(2) 長生の森公園の事業概要



位置	茂原市真名・押日地先
計画面積	48.2ヘクタール
公園種別	広域公園
都市計画決定	平成5年3月19日
事業認可	平成6年1月27日 平成20年3月6日(事業計画変更認可) 平成30年2月21日(事業計画変更認可)
事業期間	平成5年度～令和11年度(変更後)
主な施設内容	<p>【公園南側】 野球場を中心に運動施設を配置したスポーツゾーン ・野球場、テニスコート、ゲートボール場</p> <p>【公園北側】 豊かな自然環境を活かし、レクリエーション活動に対応した施設を配置した多目的広場ゾーンや体験広場ゾーンなどにより構成 ・多目的広場、駐車場、芝生広場 体験広場、体験の森、散策路 等</p>
部分供用開始年度	平成14年度(南側区域 10.2ha) 主要施設:野球場(H14)、庭球場(H15)、ゲートボール場・駐車場(H16) 平成31年度(北側区域 約2.3ha) 主要施設:多目的広場、駐車場 令和5年度(管理棟等) ※予定 主要施設:管理棟、駐車場
全体供用開始年度(予定)	令和12年度

2. 事業の進捗

(1) 事業の進捗状況

○南側区域(スポーツゾーン)

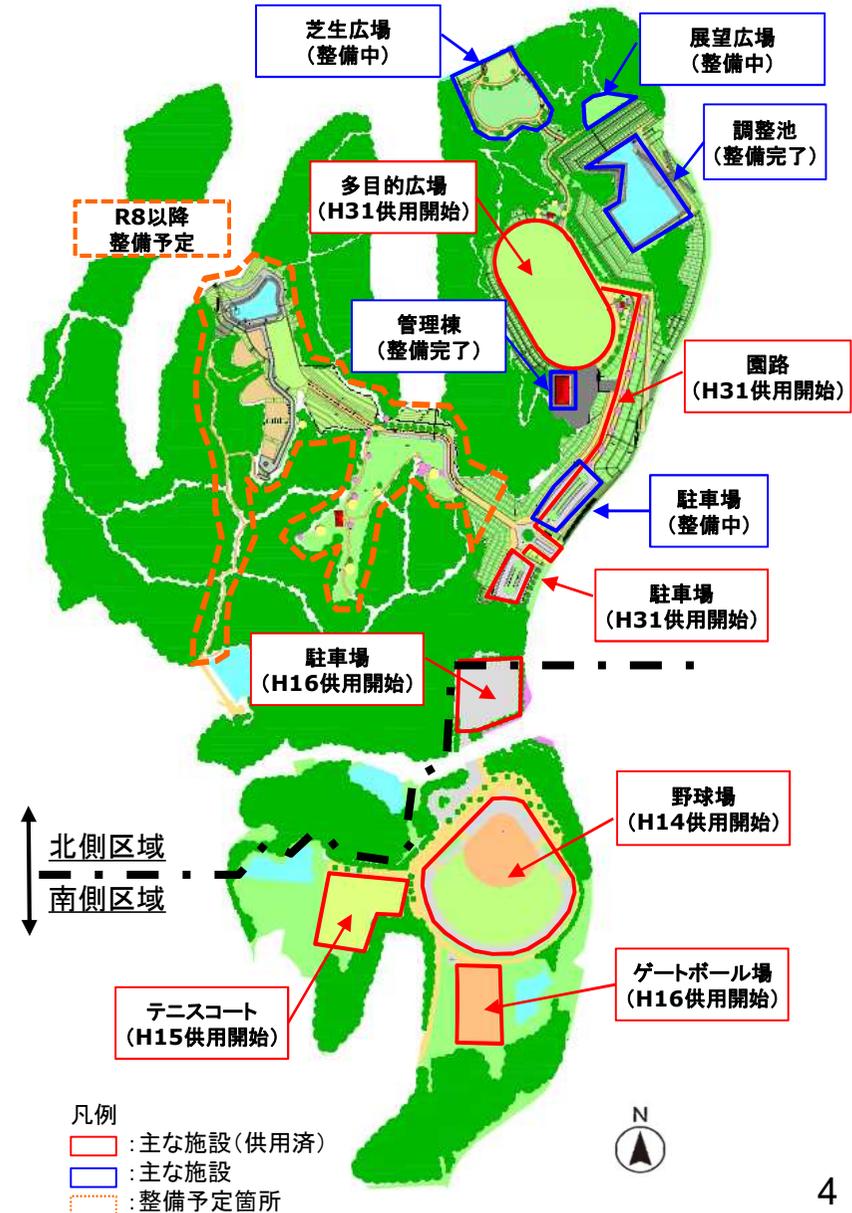
- ・全面供用済(10.2ha)
- ・主要施設:野球場(H14供用)
- テニスコート(H15供用)
- ゲートボール場(H16供用)

○北側区域

- (多目的広場・体験広場ゾーンなど)
- ・主要施設:多目的広場(H31供用)
- 調整池
- 園路・駐車場(南側:H31供用)
- ・整備予定:体験の森・体験広場など

【計画見直し後の事業費】

	全体金額	令和4年度末 見込み	進捗率
全体事業費	156.3億円	137.8億円	88.2%
うち用地費	67.5億円	67.4億円	99.9%
うち施設費	88.8億円	70.4億円	79.3%



2.事業の進捗

(2) 主な供用済施設の利用状況

- 平成14年度の開設以降、公園利用者は増加傾向(※コロナ禍は減少)
- 野球場を中心に地域スポーツの拠点として、地域の健康づくりとレクリエーション需要に対応



野球場(H14供用開始)

【主な利用】
 高校野球大会(春季・夏季・秋季)
 大学野球リーグ(春季・秋季)



庭球場(H15供用開始)

【主な利用】
 中学校総合体育大会
 テニス教室



ゲートボール場(H16供用開始)

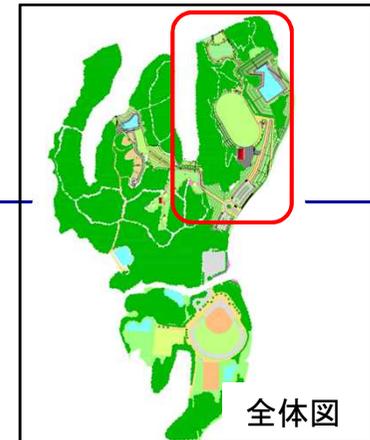
【主な利用】
 ・グラウンドゴルフ大会
 ・地元幼稚園等における運動会

各施設の利用者数の推移(人)

	H29	H30	R1	R2	R3
野球場	22,010	23,363	21,747	10,010	18,667
庭球場	16,947	17,891	16,020	15,946	17,408
ゲートボール場	9,442	8,476	6,418	5,355	7,309
合計	48,399	49,730	44,185	31,311	43,384

2. 事業の進捗

(3) 北側区域の整備状況



① 芝生広場



② 芝生広場へのアクセス園路



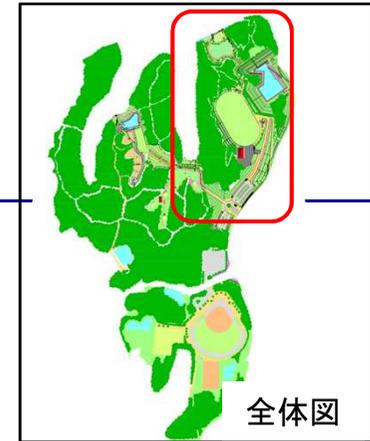
③ 調整池



④ 多目的広場

2. 事業の進捗

(3) 北側区域の整備状況



⑤ 管理棟へのアクセス園路



⑥ 管理棟



⑦ 駐車場



⑧ 駐車場

3. 事業計画の見直し

(1) 主な整備内容の見直し

- ・体験広場や芝生広場において、民間活力の導入により、緑豊かな自然環境を生かした魅力ある施設を整備 ※キャンプ場等を想定

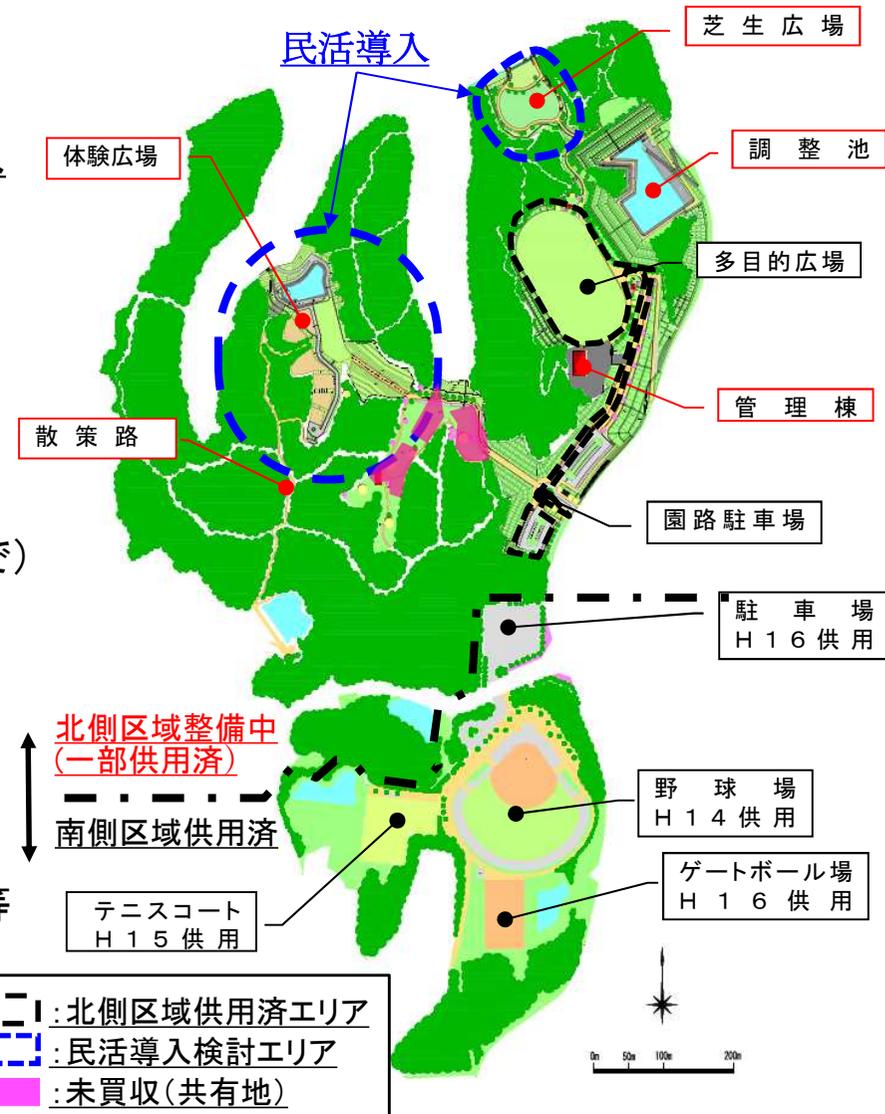
(2) 事業期間の延長

- ・用地買収の難航
 - ・近年の豪雨災害等に伴う整備遅延
- 7年間延伸** (令和4年度まで ⇒ 令和11年度まで)

(3) 総事業費の見直し

- ・労務単価及び資材価格の上昇等 (約21億円増加)
- ・Park-PFI の導入、野球場スタンド増設の中止等 (約6億円削減)

総事業費 約141億円 ⇒ 約156億円
(+約15億円)

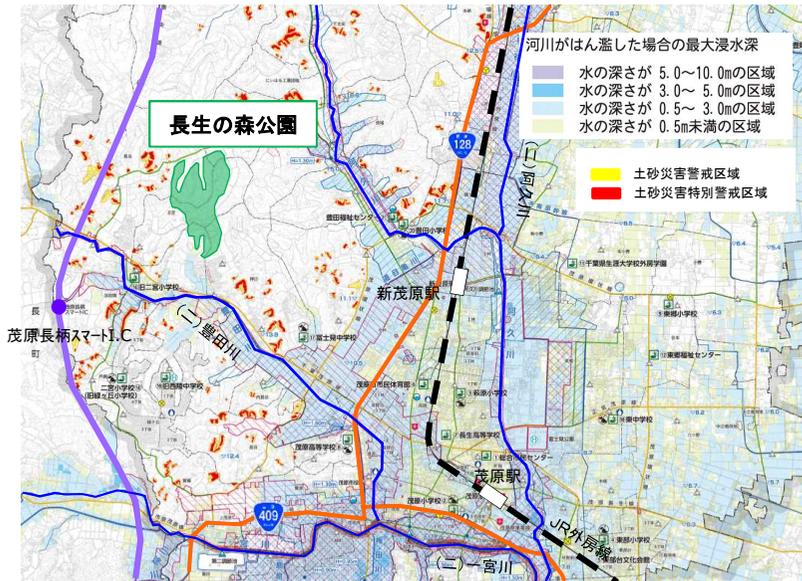


4. 社会経済情勢（整備の必要性）

- 『千葉県総合計画～新しい千葉の時代を切り開く～』において、良好な都市環境の保全、スポーツ・レクリエーションや防災など多様な機能を有する公園として、整備を推進することが位置付けられている。
- 大規模災害発生時に必要な施設の整備が求められており、県及び茂原市において、それぞれ広域防災拠点、広域避難場所として指定されている。
当県において甚大な被害をもたらした令和元年台風や大雨等、近年頻発する激甚災害を踏まえ、本公園の役割が増々重要となっている。
- 平成25年に圏央道が開通したことに加え、令和2年に茂原長柄スマートICが開通し、広域からのアクセス性が向上した。
- コロナ禍を契機に、日常生活と感染拡大防止対策を両立していくための「新しい生活様式（ニューノーマル）」の実践にあたり、オープンスペースの重要性が再認識されているが山武・長生・夷隅地域の一人当たりの都市公園面積は、 $5.68\text{m}^2/\text{人}$ で県平均値（ $7.17\text{m}^2/\text{人}$ ）を下回っており、公園整備の必要性は高い。
- 地元茂原市や利用者からも未供用区域における早期整備が望まれている。

○防災上の位置付け

- 広域防災拠点(千葉県)
 - ・各種救援部隊(自衛隊、消防、警察)の応急活動における展開拠点
 - ・救援物資の集積拠点
- 広域避難場所(茂原市)
 - ・地震、洪水、土砂災害等の各種災害発生時における一時避難場所



茂原市内の浸水想定域(茂原市洪水ハザードマップに一部加筆)

支援ゾーンの区分		各支援ゾーンの主要な役割
都市型大規模災害支援ゾーン	東葛・葛南	東葛・葛南地域への支援
	千葉中央	千葉市中央部への支援 全県下への支援
	市原・木更津	市原～君津地域への支援 県南部への支援
沿岸部地震・津波支援ゾーン	長生・夷隅	長生・夷隅地域の地震・津波被害への支援
	海匝・山武	海匝・山武・香取地域の地震・津波被害への支援
半島南部支援ゾーン	館山・鴨川・勝浦	館山・鴨川・勝浦地域と海岸沿い及び山間部の孤立地域への支援
広域支援ゾーン	成田・印西	広域に要支援地域を支援

出典:千葉県防災支援ネットワーク基本計画

○コスト縮減

コスト縮減への取組

(1) 施設整備費の縮減

- ・民間活力を導入した施設整備の検討
- ・建設発生土の有効利用(他工事への流用検討)
- ・現場発生材の再利用(発生木を利用した公園施設の整備など)

(2) 維持管理費の縮減

- ・民間活力の導入(Park-PFI)
- ・指定管理者制度の導入

発生木を利用した公園施設の整備



造成工事により木材が発生

散策路整備に流用
(※写真はイメージ)



以上により、公園整備を着実に進めていく

5. 事業投資効果

(1) 費用便益比B/Cの算定方法

費用・便益比算定の前提条件

- 基準年度: 令和4年度
- 対象期間: 部分供用開始年度～全体供用開始50年後
- 対象範囲: 山武・長生・夷隅地域(17市町村)
- 社会的割引率: 4%

費用の算出

- ・ 総事業費(用地費・施設費)
- ・ 維持管理費

便益の算出

- ・ 直接利用価値
- ・ 間接利用価値

総費用(現在価値) (C)

総便益(現在価値) (B)

社会的割引率

費用対効果 (B/C)

5. 事業投資効果

(2) 便益の算定方法

1. 直接利用価値 (公園を直接利用することで生じる価値)

健康、レクリエーション、文化活動、教育等の空間の提供

【主な使用データ】

- ・公園の施設整備内容(魅力値)
- ・各市町村から公園への旅行費用
- ・各市町村の人口

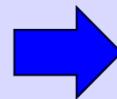
年間公園需要を算出
(年間利用者予測値) → 実績値により補正

2. 間接利用価値 (公園が存在することによる間接的な価値)

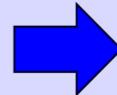
・都市環境の維持・改善

・潤いある都市景観

・都市防災



環境価値



防災価値

【主な使用データ】

- ・公園の緑地面積・広場面積
- ・防災拠点機能の有無
- ・各市町村から公園への距離

5. 事業投資効果

(3) 費用便益比B/Cの比較

	今回再評価(R4)	(参考)前回再評価(H29)	備考
使用マニュアル	改訂第4版(H29.4)	改訂第4版(H29.4)	
基準年度	令和4年度	平成29年度	
供用開始年度	部分供用:平成14年度 全体供用:令和12年度	部分供用:平成14年度 全体供用:令和5年度	・用地買収の難航 ・近年の豪雨災害等に伴う整備遅延
分析対象期間	部分供用開始年度～ 全体供用開始後50年	部分供用開始年度～ 全体供用開始後50年	
総事業費	約156億円	約141億円	・労務単価及び資材価格の上昇等
総便益(B)	452億円	344億円	・公園利用者数の実績値補正による増加
総費用(C)	345億円	264億円	・施設整備費の増加 ・維持管理費の削減
B/C	1.3	1.3	

注1)総便益・総費用については、基準年度(令和4年度)における現在価値化した後の値である

注2)総便益・総費用額は、整数止めとする

5. 事業投資効果

(4) 残事業の投資効果

基準年：令和4年度

【事業全体】

便益(B)	直接利用価値	間接利用価値	合計(B)	費用便益比 (B/C)
	64億円	388億円	452億円	
費用(C)	総事業費	維持管理費	合計(C)	1.3
	292億円	53億円	345億円	

【残事業】

便益(B)	直接利用価値	間接利用価値	合計(B)	費用便益比 (B/C)
	1億円	17億円	18億円	
費用(C)	総事業費	維持管理費	合計(C)	1.1
	16億円	1億円	17億円	

注1) 便益・費用額については、基準年度(令和4年度)における現在価値化した後の値である
注2) 便益・費用額は、整数止めとする

5. 事業投資効果

(5) 圏域外からの利用(便益の算定に含まれていない効果)

野球場は県内各地から利用されている

- ・高校野球(県大会本戦)
- ・千葉県大学野球連盟
- ・千葉県野球連盟(社会人野球)
- ・プロ野球イースタンリーグ



民活導入による緑豊かな自然環境を生かした魅力ある施設整備(キャンプ場等)

×

茂原長柄スマートICの開通(R2. 2)



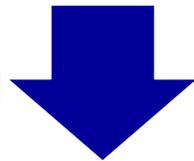
県内外からの更なる利用に期待



6. 対応方針(案)

- 広域防災拠点や広域避難場所に指定されており、地域防災計画で重要な公園であること。
- 茂原長柄スマートICの開通により、公園へのアクセスがさらに向上し、より広域的な集客効果が見込め、公園利用者の増加が期待できること。
- 上位計画への位置付けや、地元からの早期完成の要望がある状況において、多目的広場ゾーンを中心とした、自然環境豊かな公園北側が完成することにより、既に供用されている公園南側のスポーツゾーンと併せ、コロナ禍における新しい生活様式(ニューノーマル)等、多様なニーズに対応できること。
- 公園北側の体験広場や芝生広場において、緑豊かな自然環境を生かした魅力ある施設整備のために、民間活力導入を進めていくこと。

公園整備の必要性が高いことに加え、
費用便益比(B/C) 事業全体「1.3」
残事業 「1.1」



事業継続